

# 季節の変わり目を乗り越えて冷えに備える

東京保健会  
主催

親子でできるセルフケアを鍼灸師より伝授

無料



2025年10月8日(水) 18:30 - 20:30

1講師 手塚 幸忠 先生

# スマホ・ネット依存とその対応



2025年10月25日(土) 13:30 - 16:30

2講師 樋口 進 先生

# 乳幼児の食べる機能・行動の発達とその支援

食べる機能はどう育つか



2025年10月30日(木) 18:30 - 21:00

3講師 井上 美津子 先生

# 疲れた！だるい！？ 子どものからだ と心の現実

すこやかな発達のための具体的な提案



2025年11月13日(木) 18:30 - 21:00

4講師 野井 真吾 先生

# 発達特性のある子どもと保護者への支援

ペアレント・トレーニングをヒントに



2025年11月20日(木) 18:30 - 21:00

5講師 中田 洋二郎 先生

# 噛みつきは 子どものことば

どうしよう、また噛んでしまった...

保育者・親の悩みに応える



2025年12月13日(土) 13:30 - 16:50

6講師 岩倉 政城 先生

## 第78回総会・全国研究集会

11月29-30日(土・日)

記念講演

体内・睡眠・覚醒  
のリズムと  
ぼんやり時間

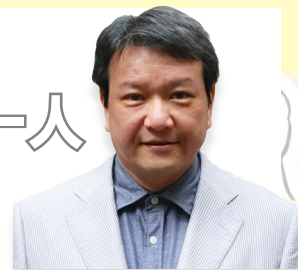


主催

新医協(新日本医師協会)

特別講演

子ども一人一人  
の個性の  
拡がりをいかに  
保育・教育に活かすか



# 季節の変わり目を乗り越えて、冷えに備える

① 2025年10月8日(水) 18:30-20:30・・・オンラインのみ・・・参加費 無料

季節の変わり目は、体も心も不安定になりやすい時期。特に秋から冬にかけては「冷え」による不調が増える季節です。この講演では、東洋医学の視点から秋という季節の特徴と、これから訪れる冬への備え方を解説します。さらに、親子で一緒にできるセルフケアやツボ刺激による「ファミリーケア」をご紹介します。お子さまの体調管理や、ご自身の健康づくりにも役立つ、やさしくて実践的な内容にできればと思います。



手塚 幸忠 先生 (鍼灸師)

## スマホ・ネット依存とその対応

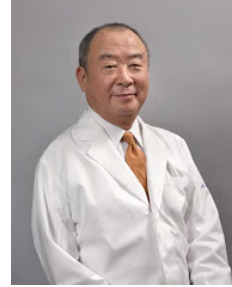
② 2025年10月25日(土) 13:30-16:30・・・オンラインのみ・・・参加費：新医協会員 1,500円/一般 3,500円

今や当たり前のように活用されるスマートフォン。街で突然立ち止まる、またスマホ画面を眺めたまま歩き、子どもが遅れて後を追っている光景、見かけることはありませんか？

スマホへの優先度が勝り、なんでもない行動や日常生活に悪影響となっている人もいます。

今回、依存症治療の最前線で活躍されている、樋口進先生をお招きし、「スマホ・ネット依存」についてお話しいただきます。

依存のサイン、重症化を防ぐために役立つ知識についてお聞きします。ぜひご参加ください！



樋口 進 先生  
(久里浜医療センター名誉院長・顧問)

講師書籍  
(著作・監修)

\*心が壊れる「ゲーム依存」からどう立ち直るのか(ミネルヴァ書房 2023) / \*アルコール・薬物・ギャンブル・ゲームの依存ケアサポート 保健・医療・福祉のために(講談社 2023) / \*ゲーム・スマホ依存から子どもを守る本(法研 2020)

## 乳幼児の食べる機能・行動の発達とその支援～食べる機能はどう育つか

③ 2025年10月30日(木) 18:30-21:00・・・会場・オンライン・・・参加費：新医協会員 1,500円/一般 3,500円

お乳を吸うことから始まる小児の食べる機能は、乳歯の萌出とともに咀嚼(そしゃく)を覚えていき、乳幼児期にめざましく発達します。そして小児を取り巻く環境は、この食べる機能や行動の発達にプラスにもマイナスにも影響を及ぼしています。

今回の講義では、哺乳・離乳・咀嚼にいたる「食べる機能の発達過程」と、そこでみられやすい問題をスライドを見ながら解説します。また、適切な支援・指導の方法を、小児歯科の最前線で活躍する井上先生によりわかりやすくお話しいただきます。



井上 美津子 先生  
(昭和医科大学歯学部 小児成育歯科学 講座 客員教授)

講師書籍  
(著作・監修)

\*ワンポイントMFTで取り組む口腔機能すくすくBOOK(医歯薬出版 2022) / \*おっぱいからごはんまで：子どもの歯・口の発育と「食べる」の発達がわかる本(芽ばえ社 2019)

疲れた！ だるい！？

## 子どものからだと心の現実～すこやかな発達のための具体的な提案

④ 2025年11月13日(木) 18:30-21:00・・・会場・オンライン・・・参加費：新医協会員 1,500円/一般 3,500円

「すぐ疲れたという子」「午前中やる気がない子」「腹痛・頭痛を訴える子」「平熱が低い子」「キレる子」「ネットに夢中になる子」...。これらはどれも、保育・教育現場の先生方や子育て中のお母さん・お父さんから教えていただく最近の子どもの様子です。

『目の前の子どもたちのからだがどのような状況にあるのか？ 自らのからだを使って懸命にその“おかしさ”を発信している子どもからの真のメッセージは何なのか？』、いま私たち大人が可能な限り正確に把握することが必要です。

今回、からだ博士である野井先生より、光・暗闇・外遊びなど科学的な話から具体的な提案までお話しさせていただきます。



野井 真吾 先生  
(日本体育大学大学教授 体育科学博士  
子どものからだと心・連絡会議議長)

講師書籍  
(著作・監修)

\*子どもの“からだ”と心“クライシス”(かがわ出版 2021) / \*子どものカガをとことんからだで考える(旬報社 2009)

## 発達特性のある子どもと保護者への支援～ペアレント・トレーニングをヒントに

⑤ 2025年11月20日(木) 18:30-21:00・・・オンラインのみ・・・参加費：新医協会員 1,500円/一般 3,500円

発達の遅れや偏りから生じる問題の対応について、保護者とどのように話し、どのように助言したらいいのか、多くの保育者がそういう思いや悩みを抱えています。

この講義では、発達障害や発達特性のある子どもの保護者支援の基本を学び、保育に役立つペアレント・トレーニングの考え方や技法をヒントに、子どもの行動の問題への具体的な対処方法を学びます。また、これらの講義を通して保護者と支援者の連携のあり方について理解します。



中田 洋二郎 先生  
(立正大学心理学部名誉教授 臨床心理士)

講師書籍  
(著作・監修)

\*発達障害のペアレント・トレーニング 簡易版：プログラムの進め方と運営のコツ(中央法規出版 2023) / \*軽度発達障害の理解と対応 一家族との連携のために(大月書店 2006)

## 噛みつきは子どものことば～どうしよう、また噛んでしまった...保育者 親の悩みに応える

⑥ 2025年12月13日(土) 13:30-16:50・・・会場・オンライン・・・参加費：新医協会員 2,000円/一般 4,000円

ようやく保育に馴れたと思った連休明け、1歳児クラスでも年少クラスでも噛みつきトラブルが発生します。地域の子どもの遊び場でも歯型が残る噛みつきに親が平謝りになっても、相手の怒りは収まりません。

同じ子が噛み、また同じ子が噛まれるので担任保育士は「あの子ささいなれば」とまで追い詰められます。

- ・どうして子どもは噛みつきなのでしょう。
- ・どうすれば噛みつきが止められるのでしょうか。

噛む理由が分かってくれば噛みつきは止められます。会場ならではのロールプレイを体験しながら楽しく学びましょう。Zoomでも。



岩倉 政城 先生  
(尚絅学院大学名誉教授 同大学元附属幼稚園長 歯学博士 新医協顧問)

講師書籍  
(著作・監修)

\*かみつ子にはわけがある(大月書店 2015) / \*指しゃぶりにわけがある：正しい理解と適切な対応のために(大月書店 2001)

HP <http://shinikyoo.com>

◇主催◇新医協(新日本医師協会) 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-10-2 日高ビル TEL.03-3988-8387 FAX.03-3983-616

講演会や書籍の詳細  
お申込みはこちらから→



記念講演

生命誕生と生物共生進化の歴史から、体内リズム、睡眠・覚醒リズム、日常的な生活習慣を俯瞰する

講師：杉田義郎（大阪大学名誉教授／精神科医師）

地球誕生から約10億年後に誕生した生命体から引き継がれてきた私たちの生体リズム（睡眠・覚醒リズム、摂食や身体運動など）は、37兆個といわれる細胞が相互コミュニケーションにより安定した調節がされています。昼夜を問わない不規則な生活を送っている現代は、多くの人が体内リズムの歪みによるストレスを抱えることになり、「適応範囲」を逸脱してきています。

一般社会ではまだこの事態を軽視する傾向がみられ、結果的に社会問題、健康問題を拡大させています。現状を打破し、根本的な解決を目指すためには上記の問題を放置しない活動に加えて、健やかな私たちの生活を確保することが基本的人権の一つであることを改めて再認識する必要があります。

体内・睡眠・覚醒のリズムとぼんやり時間

29日 13:00-16:30 ラパスホール7F

脳内の2つのネットワークの効果～ぼ～とすることの意義

講師：今田隆一（脳神経外科医師／認知症疾患医療センター長／脳神経外科学会認定専門医師）

脳内の神経細胞ネットワークには、脳をonの状態にする「中央実行ネットワーク」とoffの状態にする「デフォルトモードネットワーク」、2つの間の切り替えを行う顕著性ネットワークがある。デフォルトモードネットワークはoff状態を作るのではあるが、さらに「自己認識に関わる

思考の流れを作る」機能をもつ。「忙しく仕事をし続けるとき、ふと我に返る」瞬間は誰しも経験するところである。今回はデフォルトモードネットワークの実践的意義について述べる。

特別講演

子ども一人一人の個性の広がりをいかに保育・教育に活かすか～インクルーシブ教育への道すじと課題

講師：小国喜弘（東京大学大学院教育学研究科 総合教育学専攻 基礎教育学コース 教授）

発達障害と診断される子どもが増加の一途をたどる背景をどのように考えればいいでしょうか。その一端は、学校教育にあります。学校で、教師から「発達障害かどうか診断してもらってほしい」と言われて来院する

子どもが、皆様の診療所にも多くいるのではないのでしょうか。今回の講演では、なぜ学校で子どもたちが発達障害を疑われてしまうのか、その背景を探りたいと思います。

30日 10:00-12:00

シンポジウム

分けなない、共に育つ保育と教育

障害を持った子がみんなと一緒の学級で育とうとすると「発達保障のための、特別支援学級があるのでそちらに」と、分ける誘導がかかります。国連の障害者権利委員会は、日本政府に対して「障害のあるすべての子どもたちの通常学校へのアクセスを確保し在籍を拒否することを許さない」と勧告した。とはいえず圧倒的な教員不足と長時間勤務（世界平均の1.5倍）で40人の学級を運営している現状で一人ひとりにあわせた支援（合理的配慮）は可能なのでしょうか。

この困難を乗り越えようとそれぞれの現場で奮闘する5氏に、インクルーシブの大河に向けてどのような流れを作るかを話し合います。

基調講演：共に育つ環境を作るあゆみ～障がい児保育の支援を行政から獲得するまで

岩倉政城（尚綱学院大学名誉教授／新医協顧問）

演 題1. 統合保育を軽々と乗り越える子どもたち～原発放射能汚染避難児受け入れからの保育者の成長

高橋栄美子（認定こども園 さゆり幼稚園園長）

演 題2. 保育園での障がい児発達支援の取り組み～保護者と共に子の育ちを支える

相馬範子（子ども子育て支援複合施設「なかまの杜」代表）

演 題3. ふつう学級の就学支援相談会 36年～子どもたちからの贈りもの

佐藤陽一（共に育つ千葉県連絡会 児童自立援助ホーム南柏ホーム長／元教員）

演 題4. 障害児教育の現状と課題と理想

有本文彦（特別支援学級非常勤教員）

30日 13:00-16:30

シンポジウム

薬をめぐる諸問題に迫る

政府は、医療費高騰への対策として、OTC類似薬の保険外しを「骨太の方針2025」に盛り込み2026年実施をめざすとしました。日常医療で汎用される薬を保険から外し、国民皆保険制度はどうなってしまうのでしょうか。

一方、5年ごとに実施される薬機法改正が本年5月公布されました。医薬品の供給不足や創薬環境の変化等に対応し、国民に品質の確保された医薬品を適切に提供するためとしています。実際には、新薬の安易な承認と高薬価問題、いまだに続く数々の「薬不足」、市販薬ネット販売などの規制緩和と薬の乱用等々、問題は山積みです。

果たしてこれまで、薬機法改正は医薬品の安全性や適正使用を推進してきたのでしょうか。薬事制度の変遷から薬をめぐる諸問題を掘り下げ、安心、安全な医療のあり方、セルフメディケーション等について議論します。

基調講演：日本の医療における医薬品をめぐる諸問題～その原因、背景と薬機法改正の変遷

荒木茂仁（全国薬業労働者連絡会議事務局長）

--- シンポジウム 薬機法の改定と医療を取り巻く諸問題 ---

報告1. 医療費高騰の実態～新薬の高薬価と持続可能な医療のあり方 廣田憲威（薬剤師 大阪ファルマプラン）

報告2. OTC類似薬の保険適用除外案は何をもたらすか！？ 藤竿伊知郎（薬剤師）

報告3. 薬の適正な使用をめぐる一販売制度の規制緩和、乱用と薬物依存、セルフメディケーションとは 金田早苗（薬剤師 みやぎ保健企画つばさ薬局）

30日 13:00-16:30 地下会議室

11月29(土)-30日(日)の2日間を通して開催します。●参加費：新医協会員 2,500円 一般 3,500円 ●会場：ラパスホール=7F 地下=地下1階 (2日間通し、1講演でも複数でも同額) (東京労働会館 地図は裏面)

●新医協の会員になりませんか？新医協（新日本医師協会）は、『国民の生命と健康を守り、国民本位の医学・保健・医療・福祉の進歩をめざす』ことを目的とした個人加盟の学術団体で、同時にそれらの改革に取り組む実践団体です（1948年創立）。近年、小児保健・子どもの発達障害に関する学習の要望が高いことから、さまざまな講演会を毎年春と秋に開催し、多くの保育関係者や養護教諭・保健師の皆さまにご参加いただいております。どなたでも、新医協の会員になることができ、会員は講演会に『会員割引』にて参加することができます。会費は月2回発行のニュース代を含め月額800円（医師は1400円）です。さらに研究会にも無料で参加できます。ぜひ、ご入会を検討いただけましたら幸いです。

✓	テーマ	講演者	開催の方法/会場/定員
①	10.8 ㊦ 季節の変わり目を乗り越えて、冷えに備える	手塚幸忠 (鍼灸師)	オンライン 90名
②	10.25 ㊦ スマホ・ネット依存とその対応	樋口 進 (精神科医師)	オンライン 90名
③	10.30 ㊦ 乳幼児の食べる機能・行動の発達とその支援	井上美津子 (歯科医師)	事務所 10名・オンライン 90名
④	11.13 ㊦ 疲れた! だるい! ? 子どものからだと心の現実と心の現実	野井真吾 (日本体育大学教授)	事務所 10名・オンライン 90名
⑤	11.20 ㊦ 発達特性のある子どもと保護者への支援	中田洋二郎 (臨床心理士)	オンライン 90名
⑥	12.13 ㊦ 噛みつきは子どものことば	岩倉政城 (歯科医師 尚絅学院大学名誉教授)	会場 30名・オンライン 90名
参加数により会場のお大きさ変更↑(池袋駅直ぐ)します。			
★	全国研 1 日目 pm. 記念講演 体内・睡眠・覚醒のリズムとぼんやり時間	杉田義郎 (精神科医師) 今田隆一 (脳外科医師)	☆ 2 日間通して開催、1 つでも複数受講でも同じ参加費
★	全国研 2 日目 am. 特別講演 子ども一人一人の個性の広がりをいかに保育・・・	小国喜弘 (東京大学教授)	☆ 会場も 2 日間同じ
★	全国研 2 日目 pm. シンポジウム 分けない〜共に育つ保育と教育	岩倉政城, 高橋栄美子, 相馬範子 佐藤陽一, 有本彦彦	ラパスホール 60名 オンライン 80名
★	全国研 2 日目 pm. 分科会 薬をめぐる諸問題に迫る	荒木茂仁, 他	地下会議室 25名 オンライン 50名
	書籍「乳幼児の発達と睡眠」	( ) 冊 <a href="#">ご希望の冊数を</a>	1,800円 (税なし、送料別)
	雑誌「医学評論」126号	( ) 冊 <a href="#">ご記入お願いいたします。</a>	1,500円 (税なし、送料別)
	雑誌「母と子の健康」83号	( ) 冊	500円 (税なし、送料含む)

上記↑のご希望の講演や書籍に  を入れてください。・・・ [申込書](#) ... ※印は必須

申込方法 申込フォーム (自動返信メール有)、メール F A X でお申込み後、下記口座等に参加費をお振込み下さい。  
ご入金確認後に受講票 (ID、PW) 等をお送りいたします。  
郵便振替 00110-4-193012 新日本医師協会東京支部



↑ 講演会申込



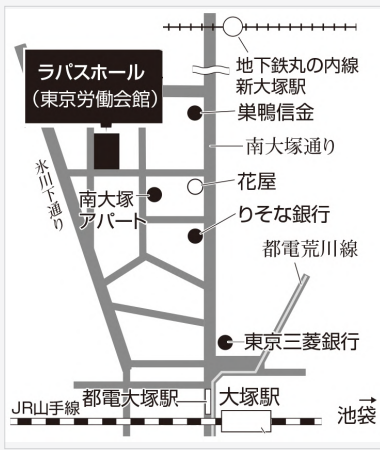
↑ 10月無料講演



↑ 申込 Peatix

主催 新医協東京支部 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-10-2-405 TEL: 03-3988-8387 FAX: 03-3983-6165  
講演会専用 e-mail: [kouen@shinikyo.com](mailto:kouen@shinikyo.com) H P: <http://shinikyo.com>

- ・氏名\* : \_\_\_\_\_
- ・職種\* : \_\_\_\_\_
- ・新医協との関係\* :  一般  会員
- ・参加方法\* :  会場  ZOOM
- ・連絡先 Eメール\* : \_\_\_\_\_
- ・受講票の送り先\* :  自宅  職場 〒 \_\_\_\_\_
- ・勤務先名 : \_\_\_\_\_
- ・勤務先 Tel : \_\_\_\_\_
- ・領収証\* :  要  不要 領収証あて名 : \_\_\_\_\_
- ・事前質問 : \_\_\_\_\_



ラパスホール (東京労働会館)  
JR山手線 池袋駅 徒歩 7分  
地下鉄丸の内線 新大塚駅 徒歩 6分 / 地下鉄丸の内線「新大塚駅」から徒歩 7分



新医協 HP 講演会、書籍、地図、ご入会は、こちらを!  
新医協事務局  
池袋西口公園  
池袋駅 徒歩 10分

母と子の健康 83号

発行人: 東京保健会 / 編集協力: 新医協 (新日本医師協会) / 発行: 2025年6月 / 定価: 500円 (税なし) / B5判 / 42ページ

QRコード

母と子の健康 QRコード

【購入ご希望の方】QRコードより詳細をご確認ください。またメール等で、新医協までお申込みください。代金は書籍の到着後でも構いません。

いがひょうろん

編集発行人: 新医協 (新日本医師協会) / 発行: 2025年7月 / 定価: 1,500円 (税なし) / B5判 / 64ページ

医学評論 通巻 126号

医学評論

1. シェンチンと民間薬 今田隆一 (脳外科医師)

2. 認知症への対策、睡眠障害の予防 石塚幸忠 (精神科医師)

3. アラビア、睡眠の科学 相馬範子 (小児科医師)

4. 睡眠と健康 相馬範子 (小児科医師)

5. 睡眠と健康 相馬範子 (小児科医師)

6. 睡眠と健康 相馬範子 (小児科医師)

7. 睡眠と健康 相馬範子 (小児科医師)

8. 睡眠と健康 相馬範子 (小児科医師)

9. 睡眠と健康 相馬範子 (小児科医師)

10. 睡眠と健康 相馬範子 (小児科医師)

11. JCOE中心の睡眠と健康 相馬範子 (小児科医師)

12. 睡眠と健康 相馬範子 (小児科医師)

2025年 通巻 126号  
発行: 新医協 (新日本医師協会)

乳幼児の発達と睡眠  
夜の睡眠とおひるね

筆者: 杉田義郎・相馬範子  
編集発行: 新医協 (新日本医師協会) / 発行: 2024年11月 / 定価: 1,800円 (税なし) / A5判 / 147ページ

オンライン Shop Stores →

●第1部 乳幼児の生体リズムと睡眠 / ●第2部 障害児の発達と睡眠 / ●保育士さんからの睡眠に関するQ & A / ●巻末付録: ①障害や育ちに弱さや遅れがある子の未発達な状態と課題チェックリスト ②命を守り育てる脳の動きチェックリスト